

第三回 大台公園ワークショップ開催！

—みんなのイメージを一つにしよう！—

開催：平成20年3月16日(日)

14:00～17:00 柄沢区画整理事務所

第三回のワークショップでは、第二回までのワークショップで整理された公園の利用形態などのご意見をもとに、大台公園の基本方針と計画案を決定しました。

今回のワークショップに参加できない方のご意見として下記のような声がありました。

- ・現在の竹林の状態では危険なので維持管理をどのようにしていくのか。
- ・柄沢地区は住宅も増えてきているので幼児用の遊具はほしい。
- ・公園の全体をまわって、たくさんモノを設置しないくつろげる公園がよい。

1. 竹林を残す：竹林の手入れをすることで大人も集える場所となる

- ・竹は成長するのが早く、すぐに増える。なぜあえて手間がかかる竹林を残すのか。公園の周辺は住宅地なので林を残すことは安全面も心配である。
- ・柄沢地区は自然が少なくなっている所以现在ある竹林を残したい。現在は高齢化が進んでいて、子供のためだけではなく大人も集える公園が必要だ。様々な年齢層の人が来る公園が前提であり、人がたくさん来ることで安心、安全な公園となる。柄沢地区は定年退職者が多いので、大人で竹林を管理していくことも可能であると思う。
- ・大台公園の竹林として残る面積は、大鋸まちかど公園の竹林面積より少なくなるので管理もしやすいのではないかな。
- ・竹は細く人が動けばすぐに見えるので、隠れる場所にはならない。竹林を適切に管理すれば人の目が行き届き安全性を確保できる。
- ・竹林の管理で忙しくなるのは竹の子採りや親竹を伐採する春の一時期である。竹林があることで年配の人が竹とんぼづくり等を教えたり、子供と加工品をつくったりしながらコミュニケーションの場となればよい。竹自体が子供の遊びの素材となっていく。

2. 園路：竹林の中も視線が通るよう、既存の道を手入れしながら利用する

- ・竹林の中には通路を設け、風通しや見通しをよくしたい。子供が竹林の中にも人の目が届くよう、南側にも公園を一周できるように園路をつくってほしい。
- ・竹林を残したい気持ちはわかるが、子供の安全が心配だ。
- ・南側は急勾配になっているので、あまり利用する人はいないと思う。
- ・もし南側に本当に道が必要ならば、我々で道をつくることは出来ないのか。
- ・南側に園路をつくらなくても、子供は歩きやすい所を見つけ自然に道ができていく。自然の中に舗装のようなものが出来ると風情がなくなるので、あまりつくり込まない公園がよい。
- ・階段ではなく、お年寄りでも歩ける道がよい。
- ・竹林の中に現況でも歩ける平坦な通路がある。竹林が侵入しないよう手入れすれば散策路になり、人の視線が通る。舗装はせずに自然な状態がよい。→通路は舗装しないが、人が歩きやすいよう整えていく。

3. 遊具：幼児から小学生低学年が使えるような遊具を設置

- ・子供が公園に来るきっかけとして、幼児とは別に大きい子供も使える遊具がほしい。
- ・大台公園は平坦なスペースが限られているので、ブランコや滑り台も、大きい子供の遊具など、たくさんの遊具は設置できない。

- ・大型遊具は公園でしか遊べない。「遊具がなくても子供は自由に遊ぶ」という意見もあったが、遊具があって初めて子供も遊びの選択ができるのだと思う。
- ・「遊具は全く必要ない」というのではなく、ブランコや滑り台などではなく別の遊具はないだろうか。
- ・小学生用の遊具は他の公園と使い分けが出来るので大台公園にはなくてもよいのでは。近所の幼児は広い道路を横断してまで他の公園へは行けないので、幼児用の遊具は必要だ。
- ・小さい子供も大きい子供も一緒に遊べる遊具がよい。小さい複合遊具が一つあれば、小さい子連れのお母さんも公園に行くきっかけになる。カラフルではない遊具がよい。→幼児から小学生低学年が使えるような遊具を設置する。
- ・健康遊具は予算と設置スペースがない場合、無理に設置しなくてもよい。

4. 広場の使い方と植栽：泥んこ遊びや木登りができるよう、土のスペースを確保し、ドングリなど実のなる木を植栽

- ・木登りができない子供が増えているので、木登りができる木や実のなる木を植えてほしい。広場でピクニックをするため木陰がほしい。
- ・他の公園で鳥が来るから実のなる木は植えないでほしいという話を聞いたことがある。
- ・柄沢に住んでいるが、気になるほどの鳥の被害はない。ドングリがなる木ならばよい。→広場にクヌギやコナラなどドングリのなる木を植栽する。
- ・サクラは2、3本。→景観ポイントとなるよう尾根にサクラを植える。
- ・遊具のまわりは土があればどろんこ遊びもできるし、イベント活動などでも使うことができる。→表面が土のスペースをつくる。
- ・花壇があれば季節の花を楽しめる。西側の入口付近は竹や雑木と合うよう、自然に生える野草のようなスイセン、ユリ、ヒガンバナを植えたい。花の種類は活動の中で考えていけばよい。→花壇は人の目につき日当りの良い東側道路沿い、西側入口沿いは野草などの花壇スペースを確保する。

5. 愛護会の立ち上げ：愛護会結成に向けてメンバーを募集する

- ・竹林を適切に管理していくには市民と市が協力していかななくては難しいと思う。
- ・竹林の管理などをしていくとなると、とても大変だとイメージしてしまう。
- ・愛護会活動は興味があることに限らず、すこしづつやる感覚で参加してほしい。

大台公園ワークショップ基本方針

1. 施設をつくり込まず、現況林のある環境を活した特色ある公園とします。
2. 公園内の見通しを良くして安全性を確保をします。
3. 竹林の手入れなど活動を行って、人が集まり地域のコミュニティが生まれる公園とします。
4. 幼児から小学生低学年用の複合遊具を設置します。他の遊びについては、周囲の公園と機能分担を図っていきます。
5. 愛護会結成に向けて動き出しています。市と愛護会が協力して公園の管理活動をおこなっていきます。

大台公園は平成 20 年度に工事着工し、平成 21 年 6 月末頃の開園予定です。

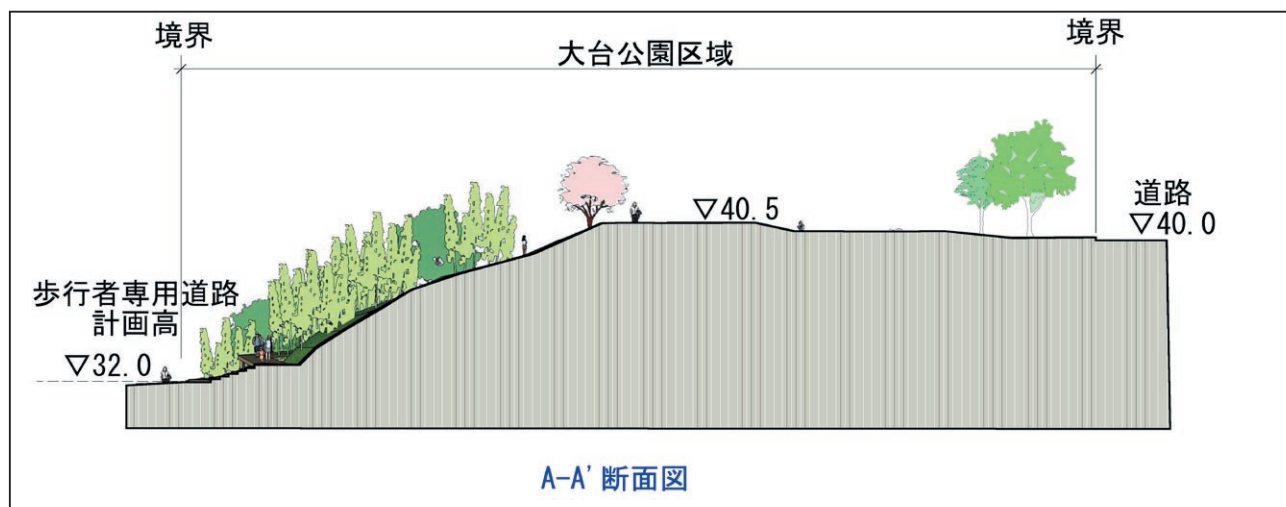
参加者のみなさんをはじめ、いろいろなお意見をいただきましてありがとうございました。

これからも大台公園づくりにご協力をお願いします。

※詳細設計の段階で軽微な変更が生じる可能性があります、予めご了承ください。

大台公園計画図 (最終案)





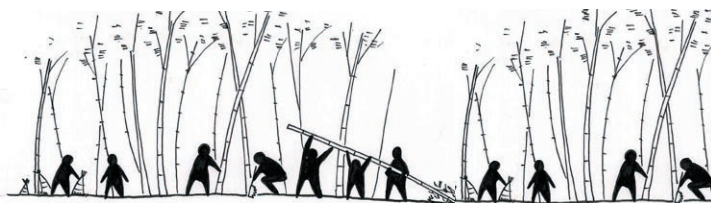
A 南側から北側に公園をみる。外周道路から見通しがよい公園。



B 北側から南側に公園をみる。緩やかな地形の広場が広がる。

大台公園 愛護会メンバーを募集してます！

平成 21 年 6 月末頃に大台公園は開園を予定しています！大台公園は竹林の手入れをしながら、時には竹の子掘りや竹の加工品をつくったりと子供から大人まで楽しめる公園を目指しています。そこで大台公園で一緒に花壇づくりや清掃、草地や竹林の手入れ等の活動を行ってくれる愛護会のメンバーを募集してます！大台公園で体を動かし、おしゃべりしながらみんなが集える公園をつくっていきましょう！



愛護会に関する問い合わせ先

〒251-0016 藤沢市弥勒寺 1-7-7 藤沢市教育委員会
生涯学習部 村岡公民館「大台公園愛護会募集」係
TEL：0466-23-0634 FAX：0466-23-0641



大台公園に関する問い合わせ先

〒251-8601 藤沢市朝日町 1 の 1 藤沢市公園みどり課「大台公園ワークショップ」係
TEL：0466-25-1111(内線 4121) FAX：0466-50-8421 e-mail:koen@city.fujisawa.kanagawa.jp